

令和2事業年度

決 算 報 告 書

第17期事業年度

自：令和 2年4月 1日

至：令和 3年3月31日

国立大学法人 東京芸術大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人東京芸術大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,939	5,011	71	(注3)
施設整備費補助金	941	867	△ 74	(注4)
補助金等収入	102	298	195	(注5)(注11)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	44	44	-	
自己収入	2,501	2,300	△ 200	
授業料、入学金及び検定料収入	2,298	2,165	△ 133	(注6)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	202	135	△ 67	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	749	1,201	452	(注8)(注9)
目的積立金取崩	-	246	246	(注10)
計	9,278	9,969	691	
支出				
業務費	7,441	7,280	△ 160	
教育研究経費	7,441	7,280	△ 160	(注1)(注12)
施設整備費	985	911	△ 74	(注13)
補助金等	102	227	125	(注5)(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	749	1,049	299	(注2)(注15)
計	9,278	9,469	190	
収入-支出	-	500	500	

○損益計算書の計上金額と決算金額の集計区分の相違の概要

(注1) 損益計算書に計上されている役員人件費、教員人件費及び職員人件費は、決算報告書上、教育研究経費に含めて表示されています。その概要は以下のとおりであります。

役員人件費	76百万円
教員人件費	4,050百万円
職員人件費	1,166百万円

(注2) 寄附金に係る経費は、固定資産取得に係るものを除き損益計算書上、それぞれの経費として計上されていますが、決算報告書上、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に表示されています。その概要は以下のとおりであります。

教育経費	154百万円
研究経費	102百万円
教育研究支援経費	2百万円
教員人件費	21百万円
職員人件費	9百万円
一般管理費	9百万円
臨時損失	1百万円

○予算と決算の差異について

(注3) 運営費交付金については、追加配分および補正予算の金額を含んでいるため、予算金額に比して決算金額が71百万円多額となっております。

(注4) 施設整備補助金については、入札により安価に調達が出来たため、交付額が減額となり、予算金額に比して決算金額が74百万円少額となっております。

(注5) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算金額に比して決算金額が195百万円多額となっております。

(注6) 授業料、入学金及び検定料収入については、コロナ禍による休学者が増加したため、予算金額に比して決算金額が133百万円少額となっております。

(注7) 雑収入については、コロナ禍による展示・演奏会の中止・延期による入場料収入等の減少により、予算金額に比して決算金額が67百万円少額となっております。

(注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費等の受入増加のため、予算金額に比して決算金額が452百万円多額となっております。

(注9) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の予算では、特許権及び著作権に係る収入が予算金額として4百万円計上されておりますが、決算においては雑収入に決算金額3百万円を計上しており、その差額は0百万円であります。

(注10) 目的積立金取崩については、事業計画の見直しをしたため、予算金額に比して決算金額が246百万円多額となっております。

(注11) 補助金等収入には、授業料等減免費交付金が69百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注12) 教育研究経費については、コロナ禍による事業計画の見直しのため、予算金額に比して決算金額が160百万円少額となっております。

(注13) (注4)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が74百万円少額となっております。

(注14) (注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が125百万円多額となっております。

(注15) (注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が299百万円多額となっております。